

特別支援教育専門員認定に必要な研修講座の受講履歴（平成30年3月改定）

特別支援教育専門員の認定に当たっては、次に定める研修講座の受講歴が10P（ポイント）以上あること。ただし、そのうち1心理検査の分野が3P以上、かつ、「2障害理解」の分野が2P以上あり、かつ、1及び2の分野の合計が7P以上であることとする。

分野	研修講座の名称	ポイント		条件
1 心理 検査	障害児心理検査実技研修講座（H12～H20）	各3P	最低 3P以上 取得	必修 選択 1、2分 野にわ たり7～ 10Pを取 得する。
	障害児心理検査実技(基礎)研修講座（H21～H23）			
	障害児心理検査実技(発展)研修講座（H21～H23）			
	心理検査実技(基礎)研修講座(H24～H26)			
	心理検査実技(発展)研修講座(H24～H26)			
	WISC心理検査の解釈と活用研修講座(H27)			
	心理検査(WISC)の解釈と活用研修講座(H28～H29)			
	WISC－Ⅳの実施と解釈研修講座(H30～)			
2 障害 理解	障害児理解研修講座(H12～H15)	各2P	最低 2P 以上 取得	
	LD・ADHD(・高機能自閉症)児等理解研修講座(H15～H19)			
	LD・ADHD(・高機能自閉症)児等指導の在り方研修講座(H16～18)			
	LD・ADHD・高機能自閉症等の指導法研修講座(H19)			
	LD・ADHD・高機能自閉症等の指導法(基礎)研修講座(H20～H23)			
	LD・ADHD・高機能自閉症等の指導法(発展)研修講座(H20～H23)			
	発達障害等のある児童生徒への指導法(基礎)研修講座(H24～H28)			
	発達障害等のある児童生徒への指導法(発展)研修講座(H24～H28)			
	障害児教育相談研修講座(H14・15)			
	特別支援教育コーディネーターリーダー養成研修講座(H16～H19)			
	特殊教育諸学校センター的機能研修講座（H18～H19）			
	新任特別支援教育コーディネーター研修講座(H20～)			
	発達障害等のある児童生徒への指導法研修講座(H29)			
	読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座(H30～)			
応用行動分析に基づいた不適応行動の改善研修講座(H30～)				
3 専門 研修	重度・重複障害教育研修講座(H16～H21)	各2P	選択 1・2分 野で不 足のPは ここで補 充できる	
	障害児指導技法研修講座(H12～H18)			
	自閉症教育研修講座（H19～H21）			
	特別支援教育指導法研修講座(H22)			
	ムーブメント教育指導法研修講座(H23)			
	特別支援教育指導法研修講座(H24～)			
	特殊学級及び通級指導教室研修講座(H12～H17)	各3P		
	特殊(特別支援)学級・通級指導教室担当者研修講座(H18～H21)			
	特別支援学級・通級指導教室担当者指導力向上研修講座(H25～)			
	サポート研修 ケース会議(小さな出来事・LD等)(H16・17)	各1P		
	サポート研修 WISC－Ⅲ(H16・H17), 心理検査Ⅰ(H18～H20)			
	サポート研修 K－ABC(H16・H17), 心理検査Ⅱ(H18～H20)			
	サポート研修 特別支援教育コーディネーターネットワーク(H17)			
	サポート研修 LD等の気になる子どものチーム支援(H18)			
特別支援教育コーディネーター専門性向上研修(H22～H27)	各2P			
特別支援担当者専門研修(H19～)				
特別支援教育リーダー養成研修会(H28～)				
発達障害等に関する特別支援教育コーディネーター研修会(H27～)	1P			
レポート				
5	実践事例レポート ※ 特別支援教育(特殊教育)に関する長期研修(H4～)を修了した者、特別支援教育(特殊教育)に関する研究事業(H4～)研究協力員、教育相談に関する臨床研修(特別支援教育 H12～)研修生は、実践事例レポートの提出を免除する。	5P		必修
合 計		15P以上		
※ 特別支援教育(に)関する)教育相談研修講座(H20～H22)の受講者は、1、2分野から必修の7P取得したと見なす。 ※ 上記の各研修講座の協力者は、それぞれの研修講座を受講したものと見なす。				